

自慢の魚と若手漁業者をPR！

～魚食普及と出会いの場づくり～

高知県海洋局

か つ お 通 信

高知市丸の内
高知県海洋局
発行人 久保田寿一
編集人 海洋企画課
定 価 無 料

地域の水産物の良さを知ってもらおう魚食普及活動はその普及対象が女性や子供が主体となることから、主に漁村の女性部が中心となって行われてきましたが、最近では、若い漁業者の組織である漁協青年部もこれらの取り組みを始めます。

また一方で、漁村に暮らす若い漁業者は、女性と出会う機会が少ないため、お嫁さんが見つけれられないといった深刻な問題も抱えています。今回は、高知の魚の良さと併せて若い漁業者の存在も知ってもらうことを目的に開催された「海の幸ふれあい交流ツアー」に赤岡の取り組みをご紹介します。



送迎バスで到着。まだ少し緊張気味？

■調子に乗った末

県の中央地区の漁協青年部の集まりである「中央地区漁協青年部連合協議会」が魚食普及と出会いの場づくりを目的にこのツアーを始めたのは昨年。初年度は参加費は三千元、年齢制限もなしで参加者を募ったところ、定員を超える応募があり、大盛況のツアーとなりました。

■最初は緊張

当日は、高知駅から会場の赤岡漁港までは送迎バスで移動。



これに味をしめた今年は、参加費四千元、40才までの女性に限定したところ、参加者の募集に苦戦。それでも目玉商品の30キロのイセエビの威光が効いたのか、何とか30名の方に参加いただきました。



絵金蔵の見学風景

きれいな漁場を次の世代に

●適正給餌に努めましょう
●漁場へのゴミ投棄はやめましょう

■乾杯！

参加者が作った料理に加え、地元的女性部や漁業者が朝から準備してくれた鯛めし、シイラの照り焼き、キビナゴの天ぷら、ブリの活け作りなども加わり、テーブルの上は土佐の魚で豪華に埋め尽くされました。各テーブルには接客係として若い漁業者が張り付き、各自、自己紹介のあと、会長の乾杯で開宴となりました。



次第にうち解けて会話も流ちょうに

■成果の程は？

出会いの場としての成果は、個人情報に該当するため大々的に披瀝はできませんが、今後の吉報に期待しています。一方魚食普及としての成果は上々で、改めて地元水産物の美味しさを再発見してもらいました。同協議会は、調子に乗っていたので来年も実施しますので、皆さん参加をお願いします。

【コラム】

「漁業就業者確保」

漁業不振の根本原因は魚価の低迷であり、これに端を発する経済的な不安定さが新規就業者不足の主因ともなっている。しかし、この厳しい環境の中でも、イセエビの資源管理を基礎とし複数の漁業を組み合わせた安定経営で人口が増加している漁村が県内にある。漁協の経営も健全で、ごく最近まで結婚祝い金百万円を支給していた。厳しい中でも漁業はまだまだ大きな可能性を秘めている。

【編集後記】
結婚相手は半径5m以内に居るといふ諸君！これは単に顔を合わせるだけではない。互いの長所を認め、短所をカバーし、お互いの成長を促す。ここにも良い例がある。

漁業経営のことなら、今すぐお電話を！

専門アドバイザーが、漁業経営、流通改善について無料でご相談に応じます。まずはお電話を！



- 漁業経営指導協会 tel 088-825-3980
- 上原アドバイザー tel 090-1570-4904